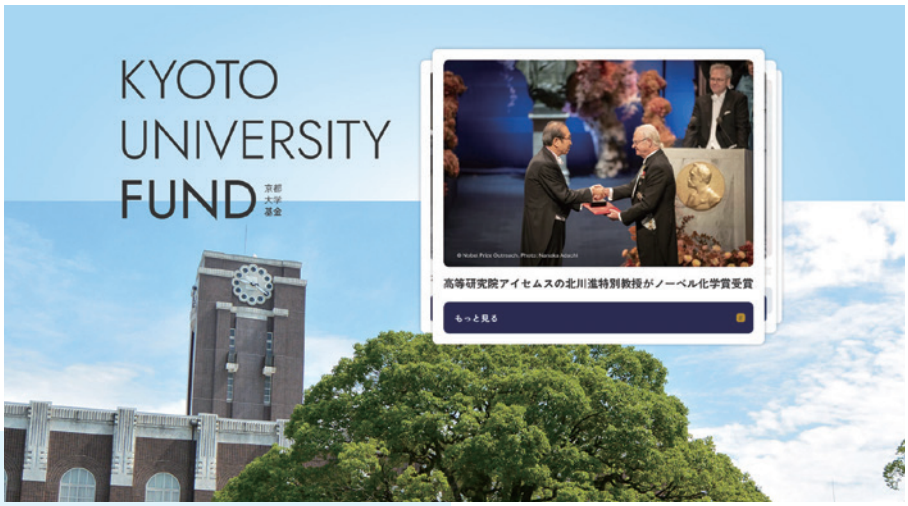
多彩なプロジェクトによって「京大力」を未来へ

支援者の皆様の期待に応えつつ、基金の有効活用と拡充を図る

京都大学基金へのご支援

京都大学では、持続的に教育・研究を展開し、未来を担う人材を育成するための基盤として、2007年3月に「京都大学基金」を設立しました。本基金は「大学全体への支援」と使途を限定した「特定基金」で構成されています。「大学全体への支援」は学生・研究者の教育環境の整備などに活用しており、「特定基金」はiPS細胞研究をはじめとする先端研究から学生の修学支援まで、多様なご支援の受け皿となる基金を設置しています。さらに近年では、遺言により自らの資産を本学へ託す「遺贈寄付」への関心の高まりを受けて、2024年に「遺贈寄付相談センター」を開設しました。多くのご相談に対応するなか、ご相談から遺言執行まで一貫して対応できるよう、弁護士をはじめとする専門家と連携し、法的な手続きを含めた総合的なサポート体制を構築しています。

こうした寄付活動の拡充により、2025年度末現在の寄付受入総額は約816億円に達しており、活用実績をウェブサイトで公開しています。今後も社会との連携を深めて学術成果から新たな価値を創出し、基金の拡大を通じてさらなる研究へ再投資する「自立的成長モデル」の構築をめざしていきます。



累計寄付受入実績

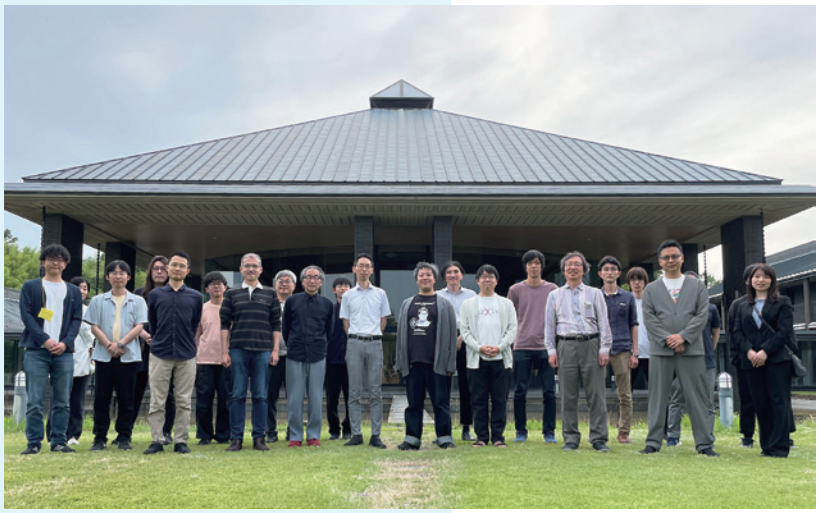
累計寄付受入総額 **816**億円

残高 **649**億円

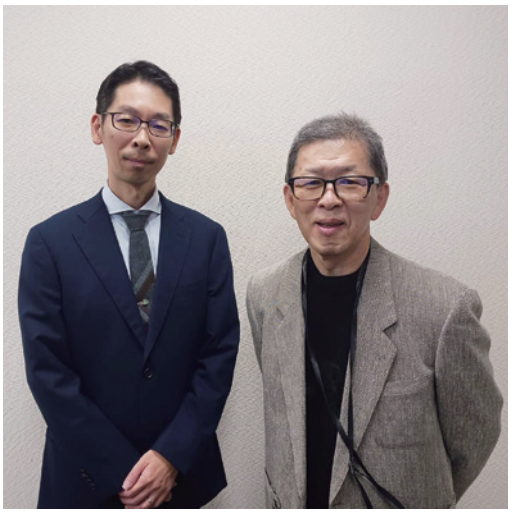
京都大学基金のウェブサイト
https://fund.kyoto-u.ac.jp/

「山崎惠学習物理学寄附講座」を開設 ― AIと科学が融合する新領域「生成科学」の拠点へ

京都大学では、生成AI・機械学習と、物理学・数学・数理科学の融合を通じ、新しい方向性の基礎研究の開拓をめざしており、本構想に深くご共感いただいた山崎惠様からのご寄付により、2026年4月、理学研究科に「山崎惠学習物理学寄附講座」が開設されました。本講座は「生成物理」を掲げ、物理・数学・情報・哲学・文学・法学を結ぶ「生成科学」の構想と連動します。多様な物理学の問題解決をAIによって加速し、数学・数理科学の発見へ広げると同時に、物理学と数学が育んできた構造や原理を次世代のAIへと接続する双方向の探究を進めます。



生成科学研究拠点準備室のメンバー



左から 橋本幸士 理学研究科教授、山崎惠氏

同窓会との積極的な連携

京都大学では、学部・研究科同窓会や国内外の地域同窓会、横断型同窓会などと連携し、卒業生・修了生と大学とのつながりを育むさまざまな取り組みを進めています。同窓会の新規設立支援をはじめ、各地で開催される同窓会や公開講演会への教員の講師派遣、大学からの情報提供などを通じて、各同窓会の活動を支援しています。また、卒業生・修了生をはじめ、在学生や教職員、地域の皆さまなど、多様な人々が集い交流を深める、ホームカミングデイを毎年開催しています。



京友会(静岡県京都大学同窓会)主催 京都大学講演会 京大の知 in 静岡
(2025年8月23日)



ワシントンDC京大会 同窓会(2026年3月1日)

第20回京都大学ホームカミングデイ

第20回京都大学ホームカミングデイを2025年11月1日に開催し、卒業生・修了生をはじめ、教職員、学生、地域や一般の方など延べ5,874名が参加しました。20回目の節目となる今回は、“数学界のノーベル賞”ともいわれるアーベル賞を受賞した柏原正樹特任教授とサイエンスライター・吉成真由美氏による受賞記念対談や、京都大学交響楽団等による音楽会を開催し、多くの来場者でにぎわいました。
また、研究者と交流できるアカデミックデイ、ホームカミングデイ20周年を記念した同窓生交流企画、留学生向けキャリアイベント、くすのき逸品マルシェなど、多彩な企画を実施しました。さらに、総合博物館や附属図書館などの特別公開やスタンプラリーにも多くの参加者が訪れ、世代や立場を越えて京都大学の「今」と「魅力」に触れ、交流を深める一日となりました。



アーベル賞受賞記念対談



京都大学アカデミックデイ2025

京都大学同窓生向けオンラインサービス「KUON」 京都大学KUONのウェブサイト https://www.alumni.kyoto-u.ac.jp/static/

京都大学の卒業生・在学生・教職員・元教職員向けの登録制オンラインネットワークサービスです。登録者限定の優待特典、同窓生インタビューの配信、生涯メールアドレスの提供などのサービスのほか、京大の「知」を還元するワークショップを開催するなど、京都大学との継続的なつながりをサポートしています。